

## 令和2年度後期日程入学試験問題

# 数 学 C

## 理 学 部

### 注 意 事 項

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ② 問題冊子は、4ページ(表紙、白紙を除く)です。試験開始後、確認してください。
- ③ 問題は、**1**から**4**まで4問あります。すべてに解答しなさい。
- ④ 解答は、別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ⑤ 受験番号は、解答用紙の指定の欄に各用紙ごとに記入しなさい。
- ⑥ 各問題とも必ず解答の過程を書き、結論を明示しなさい。

## 数 学 C

1 関数  $f(x) = \log \sqrt{x^2 + 4}$  について、以下の各問に答えよ。ただし、対数は自然対数とする。

- (1) 関数  $y = f(x)$  の増減、極値、グラフの凹凸および変曲点を調べて、そのグラフをかけ。
- (2) 曲線  $y = f(x)$  上の点  $(t, f(t))$  における接線の傾きを  $a(t)$  とする。 $t$  がすべての実数値をとって変化するとき、 $a(t)$  の最大値と最小値、およびそのときの  $t$  の値をそれぞれ求めよ。

2  $f(x) = (\sqrt{2} + 1)\sqrt{|x|}$ ,  $g(x) = |x| + \sqrt{2}$  とする。2つの曲線  $C_1: y = f(x)$  と  $C_2: y = g(x)$  により囲まれた部分を  $D$  とする。このとき、以下の各問に答えよ。

- (1) 曲線  $C_1$  と  $C_2$  の交点の座標をすべて求め、 $D$  を図示せよ。
- (2)  $D$  を  $x$  軸のまわりに1回転してできる立体の体積  $V$  を求めよ。

3 助さんと格さんのいずれか一方が、黄門様の使者として江戸に出向くことになった。そのために、次の方法で使者を決める。はじめに、助さんと格さんは共に2ポイントずつ持っている。助さんと格さんが剣道の試合を繰り返し行い、試合をするたびに、その結果に応じてポイントが次のように移動する。

{ もし助さんが勝てば、格さんから助さんに1ポイント移動する。  
{ もし格さんが勝てば、助さんから格さんに1ポイント移動する。

なお、各回の剣道の試合で助さんが勝つ確率は $p$ 、格さんが勝つ確率は $q$ であり、引き分けは無いとする。

どちらか1人のポイントが4になるまで剣道の試合を繰り返し、ポイントが4になったものが使者となる。ちょうど $n$ 回目の試合で助さんが使者に決まる確率を $S_n$ 、格さんが使者に決まる確率を $K_n$ とする。ただし、 $n$ は自然数とする。以下の各問に答えよ。

- (1)  $S_1, S_2, S_3$  と  $S_4$  を求めよ。
- (2)  $S_{2k-1}$  と  $S_{2k}$  を求めよ。ただし、 $k$  は自然数とする。
- (3) 助さんが使者となる確率  $S = \sum_{n=1}^{\infty} S_n$  を求めよ。また、格さんが使者となる確率  $K = \sum_{n=1}^{\infty} K_n$  を求め、 $S + K = 1$  であることを証明せよ。

4  $n$  を 4 以上の自然数とする。関数  $f_n(x) = (1-x)e^{nx} - 1$  について、以下の各問に答えよ。ただし、 $e$  は自然対数の底とする。

(1) 関数  $f_n(x)$  の増減を調べることにより、方程式  $f_n(x) = 0$  は  $0 < x < 1$  においてただ 1 つの解をもつことを証明せよ。

以下、 $0 < x < 1$  における方程式  $f_n(x) = 0$  の解を  $a_n$  とする。

(2) 極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$  を求めよ。

(3) 不等式  $n^2 < e^{n-1}$  を証明せよ。ただし、 $e^3 > 20$  である。

(4)  $b_n = 1 - \frac{1}{n^2}$  とする。不等式  $f_n(b_n) > 0$  を証明せよ。

(5) 極限  $\lim_{n \rightarrow \infty} n(1 - a_n)$  を求めよ。